がん化学療法治療計画書 肺がん-(51) 2022.1

担当医/指導医	/
目的	□ 積極的治療　□ 症状緩和 □ 術前補助　□ 術後補助
告知程度	□全告知　□部分告知　□未告知
告知内容	□ 癌（ 原発 ・ 再発 ・ 進行 ） □ 抗癌剤を使用する
服薬指導	□ 依頼する 看護師（　　）薬剤師（　　）
HBV感染スクリーニング	□ 確認済み

身長:　　cm	体重:　　Kg
体表面積	m^2

非小細胞肺癌　カルボプラチン+アブラキサン+テセントリク療法 1コース 3週間

投与開始日　　年　　月　　日　　コース予定

● テセントリク　1200mg/body　Day 1　　投与量:　1200　mg
（一般名:アテゾリズマブ、 商品名:テセントリク）

● アブラキサン　100mg/m^2　Day 1, 8, 15　　計算量:　mg　投与量:　mg
（nab-PTX:一般名パクリタキセルアルブミン懸濁型、商品名アブラキサン）

● カルボプラチン　AUC＝6　Day 1　　計算量:　mg　投与量:　mg
（CBDCA:一般名カルボプラチン、商品名カルボプラチン）

【投与スケジュール】

Day1	1） 生食　50mL	1V		
	2） 生食　250mL テセントリク　（　1200　）mg	1V		60分 投与時間は下記を参照
	3） 生食　50mL	1V		2）のルートフラッシュ
	4） パロノセトロン点滴静注バッグ 0.75mg/50mL デキサート　1.65mg	1V 6A		15分
	5） 生食　50mL　（　　）mL アブラキサン　（　　）mg		←アブラキサンの濃度が5mg/mLになるように生食の量を調節	液量はアブラキサンの投与量により異なる為速度調節注意！ 30分
	6） 生食　50mL	1V		5）のルートフラッシュ
	7） 5%ブドウ糖液　250mL カルボプラチン　（　　）mg	1V		60分
	8） 生食　50mL	1V		ルートフラッシュ

【Day2, 3の内服薬】※症状に応じて省略可

Day2, 3	デカドロン(4mg)	2錠	分2 朝・昼食後	2日間

Day8, 15	1） 生食　50mL デキサート　1.65mg	1V 2A		15分
	2） 生食　50mL　（　　）mL アブラキサン　（　　）mg		←アブラキサンの濃度が5mg/mLになるように生食の量を調節	液量はアブラキサンの投与量により異なる為速度調節注意！ 30分
	3） 生食　50mL	1V		ルートフラッシュ

♥ テセントリク投与時は、0. 2～0. 22μmのインラインフィルターを使用すること。

♥ テセントリクの投与時間
初回投与時は60分かけて点滴静注する。初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。

◆ アブラキサンは、投与時インラインフィルターを使用しないこと。

◆ アブラキサンは、特定生物由来製品(血漿分画製剤)使用に関する説明と同意が必要なため、化学療法・同意書(アブラキサンを含む治療)を使用すること。